

精神鎮静法・全身麻酔法の流れ

短時間静脈内鎮静法

【術前診査】

基本的に検査は行いません

静脈内鎮静法

【術前診査】

基礎疾患等について医療面接の結果、必要に応じて心電図や血液検査を行います

日帰り全身麻酔法

【術前診査・検査】

- ①胸部レントゲン
- ②心電図
- ③血液検査

処置当日

▶体調確認

着替えずに、診療室に移動

▶点滴

▶体調確認

回復室で術衣に着替えた後、全身麻酔治療室に移動

▶点滴

▶体調確認

▶点滴

点滴が難しい場合はマスクをあて、眠った後に行います

▶気管挿管

呼吸管理のためのチューブを気管に入れます

治療

歯科治療終了後、麻酔から覚める

診療室にてお休み

回復室に移動してベッドでお休み(酸素吸入)

飲水・トイレ

ふらつきや吐き気などがいないか確認後、帰宅

※全身麻酔と静脈内鎮静法は処置日の夜間は担当歯科医師と連絡がとれるようになっているので安心です。

精神鎮静法 と 日帰り全身麻酔法



やまおり

東京都立心身障害者口腔保健センター

安心して歯科治療を受けていただくために…

安心して歯科治療を受けていただくために、患者さんや保護者・介護者の方と相談の上、麻酔を使った治療を選択する場合があります。

センターでは、患者さん一人ひとりにあった診療計画を立て歯科治療や口腔保健(予防)指導を進めています。

歯科診療に対して不安や緊張感のある方には、治療内容や使用器具を事前に説明し見慣れたものから徐々に慣らすなど、小さな課題を設定しながらの診療を心掛けています。

しかし、不安や恐怖が強く手をあげたり体を起こしてしまい治療が困難な場合や長期間の通院が困難な患者さんには、精神鎮静法や日帰りでの全身麻酔法による歯科治療も行っています。

🌟 精神鎮静法 🌟

🌟 笑気吸入鎮静法 🌟

鼻マスクから吸入麻酔薬(笑気)を吸入することで、意識は保たれたまま穏やかな気持ちで治療を受けることができます。

🌟 静脈内鎮静法・短時間静脈内鎮静法 🌟

点滴をして静脈に鎮静薬を投与することで不安や緊張を和らげリラックスした状態で治療を受けることができます。

短時間静脈内鎮静法は午後から始まり、2時間ほどで終了します。




🌟 日帰り全身麻酔法 🌟

🌟 日帰り全身麻酔法 🌟

処置に伴う痛みや不安・恐怖などの苦痛を取り除くために完全に意識のない状態で安全に治療を受けることができます。

※いずれの方法を選択されても診療は保険の範囲内で行うことができます。

～精神鎮静法と日帰り全身麻酔法の違いは？～

	精神鎮静法		全身麻酔法	
	笑気吸入鎮静法	短時間静脈内鎮静法	静脈内鎮静法	日帰り全身麻酔法
				
対象となる方	<ul style="list-style-type: none"> 治療の不安や恐怖の強い方 筋緊張や不随意運動のある方 嘔吐反射が強い方 心疾患や高血圧等内科的慢性疾患のある方 	<ul style="list-style-type: none"> 治療に対する不安や緊張感、恐怖心が極めて強い方 筋緊張や不随意運動の強い方 親知らずの抜歯など侵襲が大きい処置が必要な方 虫歯や歯周疾患など治療の多い方 治療する歯が多く通院回数を減らしたい方 笑気吸入鎮静法では困難な方 		
使用薬剤	笑気ガス	静脈麻酔薬・鎮静薬	吸入麻酔薬 静脈麻酔薬	
点滴の有無	×	○	○	
意識の有無	○	○ ほとんど記憶に残りません	×	
時間	治療時間のみ	約2時間	約3～4時間	約5～6時間
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 処置後は15分くらいお休みして、ふらつきなどなければ帰宅できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事は朝9時以降禁止 水分は治療2時間前から禁止 	<ul style="list-style-type: none"> 当日、0時以降から絶対絶食！！ 当日は付き添いが必要です。 基本的には日帰りですが、当日何らかの理由で帰宅困難の場合には入院設備が整った病院を紹介します。 	